

第8回 三重県子ども・子育て会議

日時：平成28年3月14日(月) 10:00~12:00

場所：三重県合同ビル G301 会議室

出席委員：岡本陽子委員、田口鉄久委員、市川典子委員、宇佐美直樹委員、
青山弘忠委員、藤内隆志委員、曾我基子委員、小田悦子委員、
沼口義昭委員、鍵山雅夫委員、宮本佳宥委員、中村和仁委員、
乙部八潮委員

1 開会

2 審議事項

- (1) 教育・保育の実施状況と今後の取組について
- (2) 認定こども園の設置予定と需給調整について
- (3) 平成27年度の現状と課題及び平成28年度の取組方向について

3 報告事項

教育・保育情報の公表について

4 その他

次回開催予定について

1 開会

- ・会議の成立の確認
出席者13名、欠席者6名、三重県子ども・子育て会議条例第6条第2項の規定により成立。
- ・会議の公開、非公開について
公開

2 審議事項

(1) 教育・保育の実施状況と今後の取組について(資料1)

○質疑応答等

(説明)

平成27年10月1日現在の教育・保育の実施状況について、点検、評価するとともに、平成27年10月1日現在の待機児童数(412人)を報告しました。

(意見)

- ・保育の必要性の要件が緩和されたことにより、保育所の入園希望は増えたが、幼稚園の入園希望が減っている。市町としては、バランスをどう取っていくかが課題となっている。
- ・2号認定で通園していた子が1号認定に変わる場合がある。この理由の一つは、保育料の負担額が変わってくることが考えられる。

(2) 認定こども園の設置予定と需給調整について(資料2)

○質疑応答等

(説明)

平成28年度、幼保連携型認定こども園6施設、保育所型認定こども園3施設が新たに設置予定であり、すべてを認可・認定すると県内の認定こども園は17施設となり、子ども・子育て支援事業支援計画における目標設置数(13施設)を上回ることとなります。

(意見)

- ・幼稚園、保育所から認定こども園への移行促進は、国の方針ではあるものの、1号認定子どもについて供給過剰となり、幼稚園にとっては児童の確保が困難になる。
- ・幼稚園、保育所から認定こども園へ移行するところが増えてくると思われるが、移行希望があれば認可していくのか。
- ・幼保連携型認定こども園の認可部会について、3月の開催では遅い。もっと早い時期に認可部会を開催したほうがよいのではないか。

(3) 平成27年度の現状と課題及び平成28年度の取組方向について(資料3)

(補足資料1) 人材確保、質の向上等について

(補足資料2) 地域子ども・子育て支援事業について

○質疑応答等

(説明)

平成28年度の新規事業として、潜在保育士の再就職のための準備に必要な費用を貸し付ける事業を実施し、保育人材の確保を図ります。

(意見)

- ・四日市市では、平成28年度に潜在保育士に対する研修を市独自で実施していく。このように市町独自で研修を実施した場合の研修受講者も、潜在保育士再就職支援の貸付対象となるように対応してほしい。
- ・潜在保育士現場復帰支援研修受講者のうち、現場復帰したのは何人いるのか。
- ・保育士修学資金貸付について、三重県では30人の予定であるが、他県ではもっと多くの人に貸付を行っているところもある。広く宣伝してはどうか。
- ・乳幼児の親同士が子育てについての悩みや思いを語り合うワークショップはどれくらいの市町で開催され、どういう支援をしているのか。子どもだけでなく親の悩みを聞くことも大切である。
- ・学校では不登校の生徒が増えており、スクールソーシャルワーカーが大変役立っているので、もっと増やしてほしい。
- ・「子育てはっぴいパパ・ママワーク」については、良い内容になっているが、周知徹底が少ないと思う。子育てしている方がもっと活用できるよう、拡大してほしい。
子ども中心で施策を考え、地域でどのような支援が必要とされているかを大切に考えてほしい。

3 報告事項

教育・保育情報の公表について（資料4）

- 質疑応答等
なし

4 その他

次回開催予定について

- 質疑応答等
なし